

8月31日に宮城野高校で開催された探究発表会に、招待発表として、一高からは2年生23名が参加した。今回の発表会では、開催校である宮城野高校の3年生に加え、泉館山高等学校、仙台第三高等学校、仙台二華高等学校、多賀城高等学校、そして本校の招待生徒が自分達の研究成果を披露した。

会場は体育館で、A班とB班に分かれ、それぞれ3回ずつのローテーションで、ポスターを用いて発表を行った。8分しかない制限時間の中でも、グラフやアンケートなどの数値を元に独自の見解を深め、結果の傾向や根拠を熟考してよくまとめていた。また、質問も活発に飛び交い、互いの知見を広げる有意義な機会となった。

本校からは5つの班が参加した。それぞれ「前身翼の角度と不安定さ、揚力の関係」、「新美南吉の文学作品における狐と人間の関係」、「日本の発展の氷上のシルクロードー温暖化を逆手にとってー」、「種類別!! 蜘蛛糸の比較ー製品化に向けてー」、「宮沢賢治と猫」というテーマで行った研究について発表し、一高生の代表らしい堂々とした姿を見せた。また、本校生徒が聴衆となった時には、積極的に質問を投げかけている様子も多く見られ、互いにより刺激を受けることができた。

参加者にとって今回の経験は、10月25日に行われる予定のSSH第3回学校公開ポスター発表会に向けて、大きな糧となっただろう。

《発表会に参加した各班の感想》



国語ゼミ 4班

「新美南吉の文学作品における狐と人間の関係」

今回の発表会は、私達のような教科ごとで仕切られているものでなく、それぞれの独自の観点から研究された非常に興味深い発表を聞くことができ、大きな学びのある時間となった。

国語ゼミ 5班

「宮沢賢治と猫」

宮城野高校の皆さんは、聴衆の反応を確認しながら、説明を付け足したり例をあげたりして分かりやすく、興味を持ってもらえるように話していたのがとても印象的でした。研究テーマへの熱心さがよく伝わる発表でした。



地歴ゼミ 1 班

「日本の発展の氷上のシルクロードー温暖化を逆手にとってー」

発表会では、研究の成果、面白さを伝えられるよう頑張った。鋭い質問を頂き、研究により深みが出た。発表を見学する際も、話し方や研究テーマで人を惹きつけていた方々から、多くの学びを得ることができた。



生物ゼミ 2 班

「種類別！！蜘蛛糸の比較ー製品化に向けてー」

今回の発表会では、様々な改善点の指摘や質問を頂きました。この指摘を踏まえ、研究をより発展させて行きたいと思います。また、他校の研究はとても参考になりました。今回参加出来たことを嬉しく思います。

物理ゼミ 4 班

「前身翼の角度と不安定さ、揚力の関係」

校外で発表するのは初めてだったが上手く行って良かった。今回指摘されたことは次の研究に生かしたいと思う。



編集後記

普段は中々経験することができない他校との合同発表会ということで、新たな視点からの知識を手に入れることができた。このような機会を設けてくださった宮城野高校の関係者各位に感謝したい。

今後の、76 回生の校内の発表会の予定としては、

10 月 5 日【水】 ゼミごとのポスター発表会

10 月 25 日【火】 全体に向けたポスター発表会（体育館で行う）

12 月 20 日【火】 ゼミごとの口頭発表会

となっているので、それぞれの班で計画的に発表の準備を進めていく必要がある。